

# メモ ミリョク ハッケン タイ

## はっけん たより③ 2020.9.21

芽室魅力発見隊、第3回目のワークショップが9月21日(土)に開催されました。

今回は新メンバーとして芽室高校から奥村愛可さん、佐藤力也さん(ともに1年生)の2人と、町内で営農されているタール・クレイガンさんにも参加いただきました。発見隊は回を増すごとに多様なメンバーに進化しています。



今回も序盤には山本講師から前回と前々回の復習をしてもらい、記憶をよみがえらせたところから、第3ステップに入りました。

今回も収穫盛りだくさんのキーワードや、苦悩もあったワークショップになりました。

### テーマ1 ブランディング設計 その3 「定住自立～地域に“暮らす人”を増やす政策～」

国は今から10年以上も前に「定住自立圏構想」を打ち出しています。要は「今後人口減少、少子高齢化が急速に進む中、地方の地域全体で必要な生活機能を確保し、地方圏への人口定住を促進する」という政策です。

では地域に人の流れを作り出すにはどうしたらいいのでしょうか？

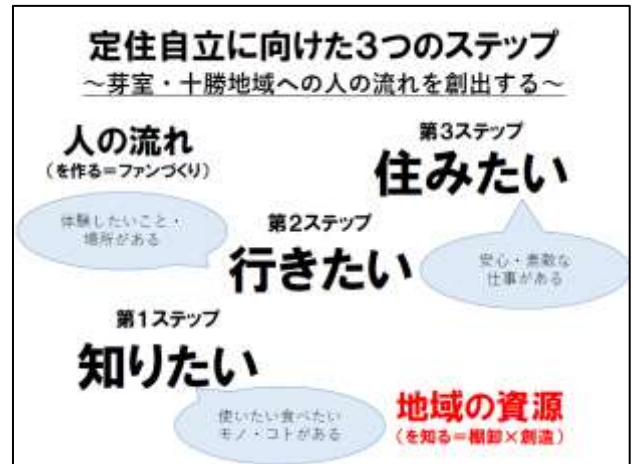
今回はその極意、3つのステップについて教えていただきました。

いつでも  
参加者  
募集中  
↓↓↓



まず第1ステップは「知りたい」、次に第2ステップは「行きたい」、そして第3ステップは「住みたい」という流れです。

いきなり第3ステップの移住は大きなハードルがあります。そのためまずは関係人口となってもらい、その地域のファンになってもらう流れが重要ということでした。



過去2回のワークショップで出しあった「地域の魅力」を総動員して「行きたい街、芽室・十勝」のワークシートづくりに取りかかりました。今までのワークショップから出てきた魅力の中でも「芽室町の中心市街地」と「新嵐山」は必ず入れることをマストとしました。

個人ワークでは「伝えたいコト、伝えたい場所」を記入したのですが、グループワークでは、それをひとつにまとめ、地図化しながら模造紙にまとめる作業となり、各グループ、悶絶していました。



3班フロンティア作成のマップ。模造紙全体を芽室町にし、上が北、下が南でモノやコトを配置しました。新嵐山エリアの付せんが多いようですね。

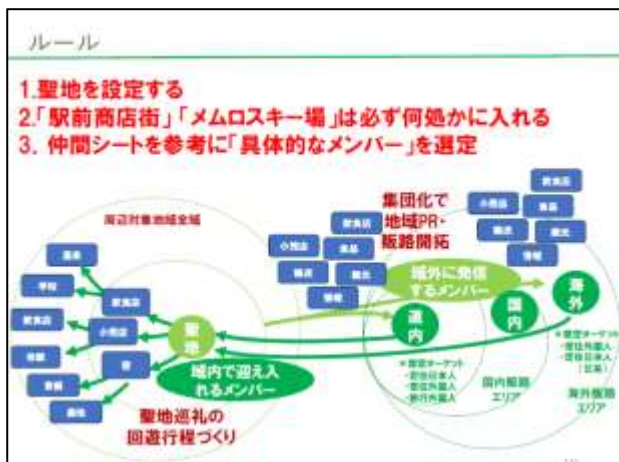
## テーマ2 事業体制の構築 その3

### 誰が？何を？担う？

こちら前回作成した「産業・仕事ネットワーク」のステップアップ編です。まずは芽室町の聖地を設定し、前回各人が作った産業とそれに関する仕事を地域内に配置して地域内循環をさせる。次は地域外に飛び出し「道内」「国内」「海外」へどう販売し、どう誘客し、どう地域内に来てもらい、どう消費してもらうか、その「ストーリー」を考えました。

各班、前回・前々回の個人ワークシートを見ながらいろいろと配置をしていましたが、全体のストーリーを組み立てる部分が難しく、こちらも悶絶していました。

これを書き込むことで、足りていない部分が見えるということにもなるのでしょうか。



## テーマ2事業体制の構築 その3

### 「適時」のタネ。いつ、どのタイミングで始めるか

何をやるにしても思い付きでやるのではなく、適時を大切にするために 12 か月のカレンダーを作って、「年間の歳時記」と「季節のできごと」をまとめる作業をしました。

意外にも、各班の貼り出したイベントが重なっていない部分が多かったのですが、改めて表に見てみると、モノによっては 1 年以上前からタネを仕込む必要と言いうことにも気が付きました。

改めて気が付くのは、モノを売り出すということは「何を」「誰が」「いつ」が重要なんだということな

んです。当然ですが思い付きや行き当たりばったりでは「目指す姿」を手に入れることはできません。

1 回目のキーワード「バックキャスト」を復習しつつ、「エモーション」を持って前に進んでいかなければいけません。(自戒)

第 3 回目のワークショップも長時間ではありませんでしたが、あれこれ考え、話し合い、内容の濃い時間をお過ごしだったと思います。

ぜひ、いったん今回のテキストを振り返ってみて、1 回目、2 回目のテキストも振り返ってもらうと「なるほど〜」と思うところがいろいろと出てくると思います。

それから、グループワークでメンバーから出された魅力や気になる場所やコトなど、一度見に行ったり、調べて「共有」していただくといいかもしれません。例えば乗馬とか、日野テストコースとか、新嵐山のキャンプ場とか。新たな魅力が発見できると思いますよ。

ということで次回は最終回のワークショップになります。最終回はビジョンマップの作製だけに集中した時間になります。私たちの芽室町がどのような将来になればいいか、それを地図に落とし込んでいきたいと思っています。

よろしくお願いいたします！

→今回は砂川市から奥山商工観光課長補佐がお見えになりました。砂川市は地域ブランディングの先進地ですので、今後も情報交換していきたいと思っています！ありがとうございました。



Special Thanks!

←講師の山本氏

進行役の中村氏→

